



津和野町

6月定例会

No. 15

平成21年

7/25

議会だより

発行 津和野町議会
〒699-5221
津和野町日原245番地1
津和野町役場第2庁舎
TEL 0856-74-0089
印刷 津和野印刷



- 平成21年度第3回臨時会 (2頁)
- 平成21年度第4回6月定例会・請願 (3頁～4頁)
- 一般質問 (5頁～8頁)
- 議会日誌・編集後記 (8頁)

清流日本一「高津川」での
鮎掛体験・日原中学校1年生
(7月6日)

第3回 臨時会 会期 5月29日

平成21年度補正予算

○一般会計補正予算(第1号)
 2,587万7千円を追加 一般会計総額70億3,680万2千円

歳入

(1) 県補助金「ふるさと雇用再生特別基金事業費補助金等」
 2,587万7千円



安蔵寺山西尾根ルート(赤土山1,077mより)

歳出

(1) 農林水産業費
 緊急雇用事業費「環境美化事業委託料」
 699万円

(2) 商工費
 ふるさと雇用再生特別基金事業費
 1,492万7千円
 緊急雇用創出事業費「安蔵寺山西尾根ルート開設委託料」
 175万9千円

主な補正項目

平成21年度補正予算(第1号) 1つ1つの質疑

Q ふるさと雇用再生特別基金事業における「冬虫夏草酒プロジェクト」とはどのような取り組みか。

A 冬虫夏草の研究製造をしている(株)にはら総合研究所と町内四酒造業者によって設立された(合同)金彩津和野、(合資)下森酒造の三者によって「冬虫夏草酒」の製造販売を手掛けるプロジェクト。委託料の50%以上が人件費でその他旅費、リース料、広告宣伝費となっている。新規雇用三名が見込まれ期間は三年となっている。

Q 他町村では五件の事例が採択となっている。今後の見通しはあるのか。

A 各課に指示している。県における基金残高は三億円、かなり厳しい争奪合戦になると思うが果敢に努力したい。

Q 特別支援教育では財源振替だけで新規雇用対策にならないのでは。

A ご指摘のとおり、全てが新規雇用とはなっていないが、新たに一、〇〇〇時間の予算増額となっている。

◇専決処分
 一、税条例の一部改正
 ○住民税における住宅ローン特別控除の創設について
 平成21年から平成25年までに居住した、所得税の住宅ローン控除の適用者に対して、所得税の住宅ローン控除可能額のうち控除しきれなかった額が課税総所得金額の100分の五を乗じた金額(九七、五〇〇円)を超えるときは九七、五〇〇円)を個人住民税から控除する制度を創設。

○証券税制・その他確定拠出年金・土地の長期譲渡所得にかかると特別控除の創設
 [反対、賛成多数で可決]
 二、国民健康保険税条例の一部改正
 ○上位法の改正により、介護納付金課税額を九万円から二〇万円に改正するもの
 [反対、賛成多数で可決]
 工事請負契約
 公共下水道幹線管渠工事(中島工区)について
 【請負者】株式会社日成建設
 【工事費】五、二五〇万円
 [全員賛成で可決]

第4回 6月定例会

会期

6月23日から6月26日まで

平成21年度補正予算

○一般会計補正予算(第2号)

3億8,464万5千円を追加

一般会計総額74億2,144万7千円**歳入**

- (1) 国庫補助金「地域活性化・経済危機対策交付金等」
2億9,804万9千円
- (2) 県補助金「福祉医療費事務費補助金・
強い農業づくり交付金補助金等」
1,065万4千円
- (3) 県委託金【学校図書館パワーアップ事業委託金等】
42万9千円
- (4) 財産運用収入「土地貸付収入」160万7千円
- (5) 繰越金「H20年繰越金」 6,366万7千円
- (6) 雑入「消防退職報奨金等」 1,023万9千円

主な補正項目**歳出**

- (1) 総務管理費
基金積立金 5,200万円
電算システム開発委託料 252万円
新エネルギービジョン調査委託料 409万4千円
- (2) 保健衛生費
医師・看護師等確保対策補助金 2,950万円
- (3) 商工費
津和野町緊急信用保証料補給金 700万円
SL夜間運行負担金 109万3千円
公衆トイレ改築工事請負費 4,257万8千円
- (4) 道路橋梁費
町道青原線、野坂線等4路線改良・舗装工事等
8,600万円
- (5) 教育総務費
学校給食センター食器洗浄機購入費
343万4千円
小中学校エアコン設置工事請負費等
1,090万円
耐震化二次診断設計管理委託料等
846万2千円
学校備品ICPテレビ55台購入費
2,009万7千円
電子黒板10台購入費 700万円
学校パソコン購入費 2,655万円
教師パソコン90台購入費 1,350万円
周辺機器 1,791万円
理科教育設備 500万円
校内センターサーバー 200万円



「農林業におけるバイオマスの利活用について」
鹿足郡町村議会議員研修会(7月3日)

特別会計

- 国民健康保険：3,228万9千円を追加
総額11億3,043万1千円
- 老人保健会計：295万8千円を追加
総額1,183万3千円
- 介護保険：2,128万3千円を追加
総額11億1,256万9千円
- 後期高齢者医療：21万6千円を追加
総額2億9,557万8千円

- 下水道事業：933万4千円を追加
総額2億8,586万2千円
- 電気通信事業：304万7千円を追加
総額2億810万6千円
- 病院事業会計：
収益871万4千円を追加 総額6億6,478万4千円
費用871万4千円を追加 総額7億125万8千円

平成21年度補正予算(第2号) Q&Aの質疑

Q 新エネルギービジョン調査委託とはどのような調査内容か。

A 町内の個人、事業所に於ける電気・石油・ガス等の消費実態調査や住民アンケート、木質バイオマスの利用可能性を調査する。

Q 医師・看護師等確保対策補助金の具体的な使途はどのようなものか。

A 中山間地の公立病院等に於ける医師・看護師の確保対策のなかで、老健施設「せせらぎ」の常勤医に対する報酬や医師確保の為の臨時職員に対する給与等で医療法人「橘井堂」に補助する。

Q 道路工事請負費の内訳は。

A ①青原市街線の舗装、側溝整備②野坂線、野坂西線、今市鍛冶屋線の改良③街路灯の整備

Q 教育諸費の委託料や工事請負費、備品購入費の内訳はどのようなものか。

A 学校I C P環境整備(校内ラン整備)一、〇二〇万円

やエアコン設置八校・デジタルテレビ、児童生徒用パソコン・教師用パソコン九〇台、電子黒板一〇台(各学校一台)等備品購入費で九、五二五万七千円を予算化している。

Q 子育てサークル補助金の補助率はどのような基準になっているか。

A 一団体標準事業費五万円以上の場合三万円の補助でそれ以下の場合事業費の二分の一。

Q 観光リフト運行費の賃金の補正はどうしてか。

A 三月から有資格者の方に依頼しているが、今後とも継続して運行して頂く上での予算補正。

Q 公衆トイレの工事請負費に設計委託料が計上されていないが、観光立町としてデザインも大切と思われる。

A デザインコンペ等実施して観光の町にふさわしいものにして行きたい。設計委託料は計上もれ、修正予算を提案したい。

反対討論

地域活性化・経済危機対策

交付金としての予算としては雇用対策や疲弊した商工観光事業に使うべきで、電子黒板やI C 関連機器の整備等緊急性が疑われる。

国から募集する。少子化に伴う生徒数の減少により、近い将来津和野高校の統廃合が懸念される。要望が実現すれば、

地域活性化や経済対策として充分ではないが国のすすめる学校情報通信技術整備等補助事業の義務負担として支出することは致し方ないかと思う。今後は全庁挙げて、事業の選択と集中を着実にしていくことを要望する。

①地域経済が活性化され、教育を基盤とした町づくりが可能となる。②近隣の高校にとつて教育的刺激となり、教育的成果が期待できる。③地域の小・中学校の学習意欲の向上につながる。

請願

★併設型中高一貫教育学校開設の実現を求める意見書の提出について

【提出者】 津和野高校後援会

〔反対二、賛成多数で採択〕

島根県知事及び県教育長宛に意見書を提出。

【意見書の要旨】

一、津和野高校の募集定員は、一学年一クラス四〇名とし、現行の校区より募集する。

二、併設する中高一貫教育学校の募集定員は、一学年一クラス四〇名とし、全

★肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の提出について

【提出者】

薬害C型肝炎しまね弁護団

〔反対二、賛成多数で採択〕

衆参議長、内閣総理大臣等へ意見書を提出。

【提出者】

島根県社会保障推進協議会

〔反対十二、賛成少数で不採択〕



一般質問

“合併の検証と課題は”



沖田 守

問 新町発足して、三年九ヶ月経過したが、合併が町づくりや行政運営にどの様な効果があったか、その検証はされてきたか伺う。

答 合併協議会で合意された新町建設計画と合併後に策定した過疎地域自立促進計画に基づいて各種施策を実施してきた。また新町の一体感の醸成に努めてきた。

行財政改革大綱及び集中改革プランに基づき、行財政基盤の強化に努め、進捗状況を把握、見直しに努めている。

問 国は強引な合併強要を求め、当初約束した財政援助もことごとく反故したと考えるが如何か、又そうであるなら断固とした異議を求めるときと考えるが如何か。

答 財政面では、地方交付税、特別交付税、合併補助金を含め(平成十七年一十九年)二十四億七千三百万円が合併による歳入増額分である。合併後、住民サービスの充実・維持を図

るため、行政組織機構の見直しをはじめ、地域住民の健康保持を図るため「地域包括支援センター」地域医療を守るため「地域医療対策室」農業の担い手を支援する「農業担い手支援センター」福祉サービスの向上を図るため「津和野町福祉事務所」等を設置さらに、行政改革と職員の人材育成の推進を図るため「行財政改革推進室」を設置して、時代の行政需要に応えるための合併後の新たな組織により住民サービスの充実に努めていく考えである。引き続き各分野に亘り検証していく。

その他、これまで議員による提案、提言に対する執行部が実施すると答えたことの実現性に疑問を感じるが、定住対策、(結婚支援策も含め)について再度確認質問。

緊迫感のある行政対応を

病院問題について

問 橘井堂が指定管理者として、津和野共存病院外三施設の経営管理をして数カ月が経過したが、現状と今後の対策について問う。

①六月一日現在での人員配置は充分か。

②経営状況と管理運営上の問題点について。

③療養病棟再会に向けて町は何をすべきとして行動しているか。

④町立病院として住民の期待に応えるために関係機関との連携を町としてどの様に取組んでいるか。

答 人員配置については、一五六名で看護師、介護福祉士の不足が六名である。

経営状況については、収益が六三一万の対予算赤字となった。経費については対予算で二六七万円落ち、医業利益としては九二万円の赤字となっているが、期末在庫を査定すれば僅かな黒字である。管理運営上の問



青木 克 弥

題点は、慢性的に不足している看護師、介護福祉士をはじめとする人員の補充が急務である。療養病棟再開に向けては、徐々に人員を確保しなければならぬので実効性のある採用計画を立て進めて行く。今後の対策としては基本構想に沿って医療協議会を設置して、医療圏や県全体の医療施策と整合性を持たせて進めていく。現状や課題を住民にオープンにして、今後も橘井堂の経営に対して支援する。

経済危機対策について

問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金制度の対応をどの様に進めているか。

答 役員内の会議で内容を提出し、当該事業の積極的な提案を図っている。

新型インフルエンザについて

問 本町の取り組みについてはどうか。

答 津和野町インフルエンザ行動計画を策定する。

森村地区の大型車の通行は大丈夫か！



青木 登志男

○経済対策について

①はるかせ商品券の販売について

問 検証と経済効果は。

答 平等性と販売限度の緩和などを行い一億八百万円(九千セット)を販売、町内消費に効果があったと評価

②緊急経済雇用対策について

問 町民や業者は危機的な状況である。予算と、タクシ業者が閉社する観光地として致命的であるが対応は。

答 町道管理等九件一千百万円の予算、タクシーについては対策会議で行う。

③高速道路料金割引と観光

入込増加について

問 夏秋のシーズンに向け緊急経済対応の中で予算化すべきではないか。

答 広域な取り組みなど早急に実行可能な対応する。

④農商工連携事業について

問 組織づくりや関係機関の一体感が重要であるが。

答 ブランド化や認定制度についても検討したい。

⑤S30周年記念事業と夏まつりについて

まつりについて

問 多くの町民の協力が必要であるが内容は。来年度は。

答 鯉恋来いまつりとS30イベントを合体で行う。次年度の継続を検討する。

○森村地区の大型車通行について

いつ

問 公共下水道工事に伴う交通規制は、町民や観光業者がシーズンに向かつて心配しているが。

答 片側交互通行で昼間の工事を行う。ご理解とご協力をお願いをしたい。

○バイオマスエネルギーの活用について

用について

問 温泉燃焼用ボイラーに使用するチップ材の安定調達で、CO₂の関係、里山の保全、林業者の雇用確保等につながるか。

答 チップの生産供給体制などの調査や補助制度の活用等関係団体と検討する。

子育てに経済的支援を！



竹内 志津子

雇用対策について

問 ①町内の雇用状況は。②ふるさと雇用再生特別交付金の趣旨を町民へ周知を。③雇用創出事業の枠はないのか。特別支援教育経費を予備費に組み替えた分を、用務員雇用等に回すべきではないか。

答 ①益田圏域では極めて厳しい状況。町内では急激な雇用悪化は見られないが、企業経営環境は依然厳しく、雇用状況の改善には少し時間がかかるだろう。②関係課を通じ町内の組織団体に働きかけている。具体的な事業は関係団体と協議している。③雇用創出事業の県の資金は十分余裕がある。特別支援教育経費の組み替え財源も含め新たな雇用創出に向け知恵を絞りたい。

④少子化対策について

問 ①吉賀町と同様に、子どもの医療費を中学校卒業まで無料に。②収入が激減した家庭の児童生徒が就学援助の申請した場合は速やかな認定を。

答 ①近隣の市町村の状況を検討している。検討の猶予をいただきたい。②年度途中の申請でも、審査会を開き、基準に適合すれば認定している。

公民館体制について

問 ①新しい体制の問題点等の把握と解決の方策は。②日原地区の常勤主事の配置を実現するための方策は。

答 ①館長・主事会で、研修し、事務上の問題点等について協議している。②当面は、互いの地域の理解に努めたい。地域の強い要望があれば検討したい。

排水溝の整備について

問 合併浄化槽設置が進められるよう、排水溝の整備を。

答 高湿度や高い気温のとき臭うことがあるが、台所や洗濯水を直接流すより排水自体はきれいな状態になっている。排水路等の公共施設が破損・勾配不足等で機能が低下していれば調査の上対応したい。

景 気 対 策 を ！

リフォーム促進事業について

問 県では、リフォーム促進事業や県産木材利活用助成事業が、新築や増改築された方に補助制度があり、また近隣の市町村では、単独の継続支援事業もあるが、当町は景観条例もあり、経済活性化のためにも、町独自の補助事業を予算化する必要があると考えるが。

答 町における経済状況を考えると、産業振興は喫緊の課題であり、地場資源を活用し、地元も自営業者において事業実施がなされることが大切と思う。

先般、高津川流域の林業再生を考えるシンポジウムが開催され、住民や、企業、行政が情報を共有する中で、流域林業の再生を図ることが提起された。更に石見瓦については、本町の景観計画の中に位置づけられており、町として補助制度を前向きに検討したいと考えている。



村 上 英 喜

除雪対策について

問 県道津和野田万川線白杭トンネルから、益田市の西石見広域農道線について、除雪の要望をよく聞くが、益田市に対し、町として除雪の要望をする必要があると考えるが。

答 この冬の除雪状況は、津和野側が三回、広域農道側は一回で、双方とも業者委託で連携なく除雪をしている状況である。今後は、双方の業者に連携を呼びかけていきたい。

はるかぜ商品券について

問 商品券の買い占めや、個人差があつたように聞いたが、トランプはなかつたか。

今後の課題や問題点はあるか。

答 最初の販売は、平等性を重視したが、売れ残り再販売に踏み切つた。初日に販売窓口に集中したため混雑したのは、反省点として考えている。代理購入や一人五セットの数量が適切であつたかは、検討課題と考える。

森 の め ぐ み

問 緑の再生産業プロジェクト

不況から立ち直るためのカンフル剤として期待されている「森林整備加速・林業再生事業」(みどりの産業再生プロジェクト)の国の補正予算が先日成立した。この事業はメニューが多彩。

- ・間伐
- ・路網整備
- ・森林境界の明確化
- ・木質バイオマスの利用施設整備(みどりの里・病院のボイラーの切り替え)
- ・木造公共施設整備(木造町営住宅)
- ・里山再生対策
- ・侵入竹の除去

森林病虫害対策
広葉樹林等の再生

とくに、持ち出しゼロ(全額国費)の事業が多いことが特徴。間もなく県に下ろされてくる。

仕事が無く困っている森林、土木、建築関係者が多い。町はこの予算獲得のためにどのような努力をしているか。

答 この事業は六月一二日に



道 信 俊 昭

成立した国の補正予算に呼応した新規経済対策事業として、向こう三年間にわたつて景観対策を行うため、県において基金化し、そこから事業実施主体に支出されるものである。

現在島根県においては六月議事に農林水産業対策全体として四三億円の補正予算を上程しているが、その内の二八億円をこの基金として積み立てられる。

これを二一年度で四億円取り崩し、様々な事業を実施することになる。したがって、実施要綱等は県において定め、七月末ごろには詳細が示されるので、現在当町が計画策定を進めている新エネルギービジョンとの整合を図りながら、最大限対応したい。



H27年には 2人に1人が高齢者



村上 義一

新型コロナウイルス対策について

問 世界大流行を引き起こし日本全国では九百名を超える感染者が確認されている。新型のみならず、季節性インフルエンザ、又感染症も様々である。秋頃から二波、三波が予想され、持病を持っている高齢者の合併症などが心配であるが。

答 慢性疾患の患者さんに対してかかりつけ医師の了承のもと継続的に予防、治療にとりかかっている。現在、発熱など症状の診られる患者については電話による診療を行っている。

老人福祉・介護計画(四期計画)について

問 団塊の世代の高齢期を迎えるH27年には一人に一人が六五歳以上となる、高齢化に伴い老人福祉・介護予防のしっかりした計画が必要である。①認知症対策②包括支援の具体的計画は。

答 まず畑迫地区、池河地区

を現在モデル地区にし、認知症サポーターを増員、見守り体制を構築している。認知症地域支援事業による普及啓発に努める。②関係機関との連携を図り在宅支援、ケアプラン作成、専門員による個別支援など相談に応じていく。

津和野町学校再編計画について

問 統廃合について具体的な計画は。

答 畑迫小を津和野小に統合。左籬、須川小を日原小に統合し木部中学を津和野中学へ統合する計画。

寄付行為について

問 目的や用途の定めが無い活動が見受けられる、町への届出は。

答 旧来は内規の取り扱いで申請がなされてきました。今後は事例等参考に検討していく。

議会日誌

(3月定例会以降)

4月1日 広報委員会

4日 津和野地区消防センター竣工式

13日 広報委員会

17日 併設型中高一貫教育学校開設請願審査特別委員会

22日 鹿足郡町村議会議長会総会

22日 併設型中高一貫教育学校開設請願審査特別委員会(視察)

28日 広報委員会

5月22日 併設型中高一貫教育学校開設請願審査特別委員会(視察)

29日 第三回臨時会

*全員協議会

6月11日 併設型中高一貫教育学校開設請願審査特別委員会

19日 議会運営委員会



併設型中高一貫教育校
山口県立高森みどり中学校
山口県立高森高等学校 視察(5月22日)

編集後記

ついこの前植えたような気がする田んぼの稲が、すくすく成長し水面は見えなくなり、土用干しの時期を迎えています。今年もすでに半分が過ぎました。時の移ろいが早く感じられるのは、年を取った証かも。

この議会便りが発行される頃には梅雨明けの頃となりますが大きな被害のないことを祈るばかりです。

そしてその後、暑い夏を越えた頃には国においても、当町でも新しいリーダーを運ぶ一大行事。どのような歴史の転換点に立つことになるのか。いずれにしても注目です。暑くなります、ご自愛を願ってやみません。

(滝元三郎)

編集委員

- 板垣 敬司
- 中岡 誠
- 沖田 守
- 齊藤 和巳
- 滝元 三郎
- 村上 義一